

# 人権のひろば

Vol.247

「人権のひろば」  
に対するご意見、  
ご感想は広報広聴  
グループまたは、  
人権室までお寄せ  
ください。

## 思いやりの心で 新型コロナウイルスに 立ち向かう

新型コロナウイルス感染症は人々の生活に大きな影響を与えました。緊急事態宣言解除後は、「マスクの着用」「ソーシャルディスタンスの確保」「三密を避ける」など、新しい生活様式が提唱され、感染防止に努めながら日々の生活を過ごすことを余儀なくされました。また、イベントや旅行、食事などの楽しみ方にも感染防止に配慮した、新しい形が求められています。

治療法が確立されていない新型コロナウイルスは私たち人類にとって、非常に脅威的です。そのような中で、感染者の命を救うため、医療従事者の方々は日々懸命に職務を全うされています。医療従事者への感謝や応援の声が多くある一方、新型コロナウイルスによって差別を受けたという内容の

ニュースを見掛けることがあります。「近所の方から外出を控えるように注意された」「訪問先で全身に消毒液をかけられた」「医療従事者の家族というだけで、非感染者であるにも関わらず、勤務先から出勤停止を言い渡された」など、本人だけでなく、家族までもが差別的言動を受けたという内容も見られます。

医療従事者だけでなく、スーパーマーケットの店員や配送業者、ごみ収集員、保育士など、人々の生活を支えるために感染の危険にさらされながらも職務を全うする人がいて、私たちの生活は成り立っています。その人たちへの感謝の気持ちはいきまいたところですか。

新型コロナウイルスには誰しもが感染する可能性があります。自分自身が感染した際に、いわゆる誹謗中傷を受けたり、非難されたりしたらあなたはどのような

感じるでしょうか。私たちにとって必要なことは、新型コロナウイルスに対する正しい知識を持つことと、冷静な行動で周囲の方々と向き合うことではないでしょうか。

新型コロナウイルスに対しての不安が少しでもなくなるように一人ひとりが思いやりの心を持ち、支え合いながらこの危機をみんなで乗り越えていきましょう。

